

長田徳液 （徳液） 詩人。明治二十四年十月（二十四日）徳島縣生れ、昭和二十一年十一月十八日没（一九九一—一九四九）。筆名まきごだ・ほなみ、徳液坊、徳液生、長田生等。

著書、詩集『靈魂は羽ばたく』（昭和二年五月）二十五日京都・光友社）、『夕ぞらの空』（昭和二年六月十五日京都・光友社）、『光れ輝け』（昭和六年十一月四日修養園）、『回春の大陽』（昭和八年九月十五日京城・培文堂森書店）、『徳液實相』（昭和十三年九月十五日大阪・白曜社京社）、『福音と歡喜（遺稿選集第一卷）』（藤本正高編、昭和二十五年十一月十八日神奈川・聖約社）等。